

寄居町が目指す姿

可能性 ∞ むげんだい



この言葉には、次のような「決意」と「願い」が込められています。

『可能性 ∞』であること

未来に向けて、町民一人ひとりが自分らしくいきいきと活躍する『無限の可能性』を引き出せるまちを目指します。

『笑顔満タン』であること

いつでも、どこでも、町民の『笑顔』に出会えるまちを目指します。また、町民の『笑顔』が大勢の人を呼び寄せ、町に訪れた人を『笑顔』にさせることで、活気と賑わいを育んでいきます。

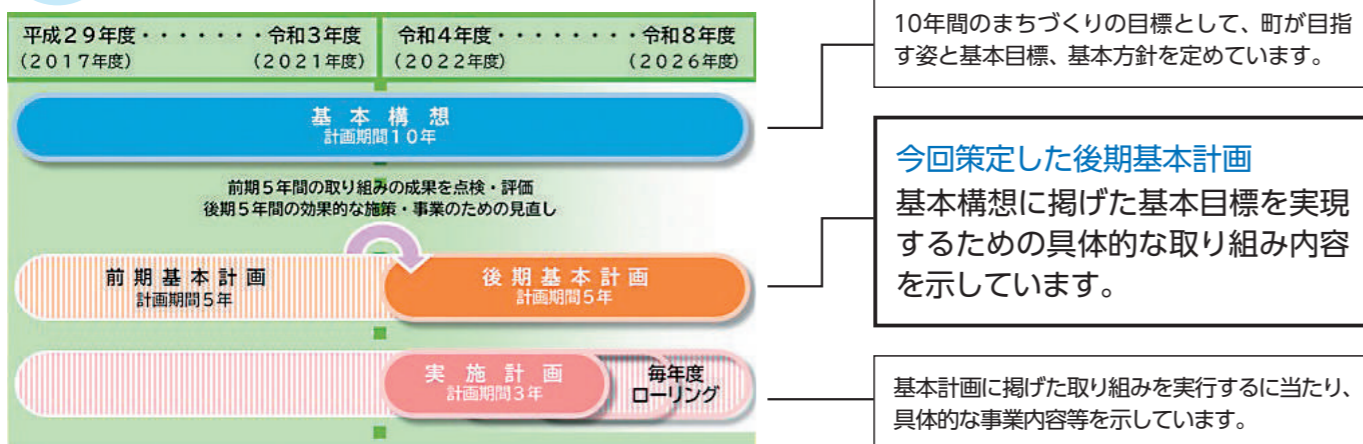
笑顔が あふれる未来へ

第6次 寄居町総合振興計画 後期 基本計画を策定！

第6次寄居町総合振興計画 後期基本計画が、昨年12月町議会において議決されましたので、その概要についてお知らせします。

☎ 総合政策課 ☎ 581・2121内線462

総合振興計画の構成と期間



町では、平成29年度を初年度として第6次寄居町総合振興計画基本構想・前期基本計画を策定し、10年後の寄居町が目指す姿である「可能性∞(むげんだい) 笑顔満タン よりいまち」の実現に向け、さまざまな施策を展開してきました。

基本構想の計画期間10年間のうち前期5年間が経過し、各種施策・事業の成果は少しずつ見られるようになってきましたが、加速する少子高齢化や人口減少、多様化・基大化する災害、社会全体のデジタル化への対応、カーボンニュートラルの実現※など、町を取り巻く社会動向は日々変化しています。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国内の経済・社会全体のあり方や人々の行動様式など多方面に影響を及ぼしており、新型コロナウイルスを正しく理解し、社会的距離の確保やデジタル技術の活用等による「新しい生活様式」を日常生活に取り入れていくことが必要となっています。

こうした新たな社会状況など町の諸課題に着実に対応し、後期5年間において、さらに効果的な取り組みを実施できるよう、このたび後期基本計画を策定しました。令和4年度からは、この後期基本計画を町の新たな指針として基本構想で掲げた将来像の実現に向けて、施策・事業を展開していきます。

※カーボンニュートラルの実現：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、全体としてゼロを達成すること。